

早稲田ヨットクラブ

会報

第7号

昭和55年3月 発行
発行所 早稲田ヨットクラブ 堀江喜二
事務局長 隈部 勲
会費振込先 日本橋支店
第 勤業銀行 一四四五七三九
普通預金 口座番号
ワセエヨットクラブ 堀江喜二

シーズン始めに想う

会 長 小沢信三郎

早稲田ヨットクラブも、今や現役を含めると四百人にも及ぶ大勢力となつて、年々広範囲な活動を展開しつゝあり、誠にうれしい事です。特に最近では早稲田体育会三十九部の中でも活発なOB会として現役支援を行っているだけでなく、ヨットクラブとしての社会的発展の途を進んでいることは私の欣快に思うところでありませう。

かえりみれば戦前から、二十年代の学生主導型のヨット界が、日本の成長と相まって社会人ヨットの充実、更には個人活動の発展と日本ヨット界全体が逐次層を厚くしてきていますが、早稲田ヨットのOB諸氏が常に重要な存在で貢献しておりませう。その故が日本全土に及び、地方ヨット界、実業団ヨット界でも常に又各所で指導的役割を果たしているのです。この流れはすべて、現役ヨット部の指導、優秀な学生ヨットマンの育成に、その原点を求めると言えるのであります。学生ヨットで苦勞を克服し、栄光を求めた経過から得た自信が、弾力性のあるたくましい人生と、社会的

実力に結びついてゆくものと考えます。その観点から常にその時代時代に後輩を育て、力強い伝統を築いて来たOB諸氏に敬意を表するものです。

クラブの活動に努力した人々も、次々に顔ぶれを変えています。誰でも仕事の性質や地理的条件、社会的条件で、こうした事の出来ない時もあり、幸いに出る時もあるでしょう。五十年にも及ぶヨット部の歴史が続いてきた様に、ヨットの現場でも、日本ヨット界の中でも、早稲田ヨットクラブの面でも、次々に、その役割をにない合つていて戴きたいと思ひます。

皆さんの夫々の立場から、学生の安全と、ヨット技術向上に力をかけて下さる事を願うと共に、年代を越えたこの素晴らしいクラブの一層の発展と、ご家族の交流も含めた楽しい交友関係を末永く続けてゆきたいものです。

シーズン始めに当り、諸氏の健康を祈り、ヨットの現場への参加を期待するものです。

五十五年通常総会は、一月十三日(日)正午より大隈会館一階ホールで開かれました。吹雪になりましたが大勢の会員参加を得て、賑やかにのおめでとう乾杯が出来ました。夫人同伴の方や元気な子供達もガラス越しに吹雪の大隈庭園を眺めて、お正月らしい雰囲気でした。

小沢会長も元気でワセエヨットクラブの発展を祝し、現役諸君への支援をお願いするとのご挨拶。家族ぐるみのクラブ行事のひろがり喜んでいたゞいています。

堀江理事長から活動報告(詳細は第六号会報参照)に併せて、歴代の理

局諸氏に感謝の意を表す。今年度も多くの会員の積極的参加を要望された。

次いで、(別掲記事参照) 会計報告

ガラス越しの雪見酒

—55年新年総会—

認。 照) 会計監査

ヨット部長矢頭先生は、最近の早稲田のこと、又いよいよ百年祭を迎える大学の募金活動への協力要請がありました。

全員総当たりからの福引きや、子供たちの紹介地方会員からのメッセージなど、初春らしく。そして、応援歌から都の西北へ。カラオケプラスバンドの効果が良く、久し振りにマジメに校歌を歌ったよ

理事など人事は二年任期の為、今年は改選なし。会費も変更なしです。

木曜日より(例会報告)

11月8日(木) 永楽クラブ 理事会
(出席) 堀江 安藤 加藤 浜田 石田 松島 米田

(議事) 早風会 実施細目を具体的に打合せた。

12月20日(木) 永楽クラブ 忘年会パーティー

(出席) 小沢 新名 永元 隈部 田窪 羽生 堀江 加藤 湯沢 安藤 米田秀 米田晴 岩本 鈴木 浜田 杉山 佐藤 加藤文 原田武 石田 木村 出 中島 浅野 松島 杉山孝 森 小坂 頼 江 上 光武 野口 齊田 他に学生諸君。

久し振りに上京された「海軍」こと佐藤久(30)氏の気合のか、つた歌とスピーチは、現役時代さながら。氏の科学的ヨットレース必勝法は、近日中に原稿をいた

べく予定。二次会に至るも、海軍節でノブチャン以下みんなメモロになりまし

た。

1月13日(日) 55年新年総会(前掲)

2月14日(日) 永楽クラブ 世話人会
(出席) 堀江 隈部 田窪 杉山 加藤 米田晴。

今年度の具体的活動項目協議。特に、体育実技の充実につき、学校に提案する件。

急報 3月1日付にて米田晴二大坂に転勤、事務局・連絡先左記に変更。

浜田裕(30)朝日生命・企業保険部
〒一六〇 新宿区西新宿一七七一三
(〇三)三四一三二二(代)内線三五二〇

(決算報告)

54年からは、一月一日より十二月三十一日を会計年度としています。会報第四号の会計報告以後の収支決算書を別掲リストの如くご報告し、関連事項をお知らせします。

(イ) 54曆年に於ける年会費収入は一四七万円、寄附金は六三万五千円。合計二百拾万五千円が、会員から寄せられた。その都度お札状を送り、会費年度とお名前を会報に発表した。

(ロ) 募金方法と管理方法
銀行通帖で二口座持ち、一つは「堀江喜三」名義とし会員からの会費・寄附の振り込みの受け入れ用とした。

一つの口座は「米田晴二」名義とし、現金納入を預け入れ、また小口出し入れに使用した。大口金額の取扱いは、堀江米田両名で支出処理し印鑑は堀江、通帖は米田が保管した。

銀行通帖の総合口座が、それを可能にしてくれたと言える。実際に二人で銀行に行く事は年間四回位であった。

(ハ) 会合費
クラブで開催したすべての会合は、参加者とその都度三千円を拠出して行いました。但し、学生さんからは徴収していません。学生は総会、忘年会、又、一部理事会にも出席して打合せに参加していません。

会合開催での事務局の苦勞は出席人員の掌握です。会合を毎月第二木曜日に決めた事、場所を永楽クラブに一定した事、

更に絶対に毎月開く事にした。(ここで会員諸氏にお願いしたい事は返信ハガキ位は投函して欲しい事です。特に若い諸君が何故かハガキを返してくれない様です。)

(ニ) 現役への援助

これで何年振りかにスナイフ新艇が入りました。姫路の奥村ボート製です。その他遠征費、セール購入等に充てられた。

(ホ) 「稲龍」への援助

従来「稲龍」を愛する諸氏の負担が相当あり乍ら、安全備品も揃えられずその為、レース参加の資格も欠いていました。これが、これでNORCの安全検査も完了しました。クルーズイングを愛する諸氏の本格的なご参加を期待します。

(ヘ) 謝礼・慶弔

現役ヨット部がお世話になつていらっしゃる、合宿所関係先へのご挨拶。中元・歳暮・謝礼。会員及びお世話になつた方の弔事への供花など。

尚、慶弔については、会員自身に関する場合に現金支出、又はそれに準ずる贈物をなし、会員家族や理事会で必要と認められた先に関する場合、電報又はそれに準ずる贈物をする様にしております。原則は会則によつています。

(ト) 諸会費とは

稲門体育会分担金、四大学OBレース参加費。早大レスリング部五十年祝賀会祝、横浜市大全日本優勝祝賀祝(コリヤ

くやしかったネ)
一応、社会的にクラブとしてのおつきあいをしたとゆう事です。

(チ) 印刷・郵便代等

54年度は、会報と印刷物によるお願いで会費等の募金促進を行い、電話口答では何もせずの方針をとり、一応の成果を得たと考えています。会報発行につき上田先輩(20)と、石山先輩(37)に大変ご協力を得ました事お知らせします。

(リ) 保険料

会報でお知らせした如く、指導者責任保険をヨット部監督に附保したものの、金額は少ないがその意味するところは大きいと思う。

(ヌ) バツチ代

OBバツチを復活させ、会合出席者にはお渡し済。尚この金型は「越前屋多崎株式会社」にあるので、追加発注はいつでも可能。

(ル) 会計監査

会計監査は55年1月11日林弘氏(23)にしていただき、報告書は総会当日石川武男氏(29)が代読された。

以上の結果、繰越金は買掛残を含むと零に等しい内容で越年した。

(ヲ) 追記

理事会でやりたい意向になりつ、出来なかつたのは、監督への交通費補助があつた点、残念、且つ申しわけないと思ふ。(以上 米田)

54年度収支決算書 (54.1.1 - 54.12.31)

| | | | |
|-----|-----------|---------|-----------|
| 繰越金 | 235,891 | ヨット部 援助 | 1,325,000 |
| 会費 | 1,470,000 | 稲竜 援助 | 600,000 |
| 寄附金 | 635,000 | 会合費 | 742,967 |
| 広告費 | 460,000 | 謝礼・慶弔 | 68,555 |
| 会費 | 577,000 | 諸会費 | 70,000 |
| 利息 | 1,203 | 印刷・郵便代等 | 339,585 |
| 雑収入 | 2,425 | 保険料 | 6,758 |
| | | バツチ代 | 53,500 |
| | | 小計 | 3,206,365 |
| | | 次期繰越金 | 175,154 |
| 合計 | 3,381,519 | 合計 | 3,381,519 |

(収入の部)

◎ 新年度会費とご寄附のお願い
早稲田ヨット部への援助と、私たちがクラブ運営の為、今年も年会費一万円と何分のご寄附をお寄せいただきたくお願いします。

振込先 第一勧業銀行 日本橋支店
普通口座一四四五七三九
堀江 喜一ホリエキゾウ



第18回 早風会

過る11月18日(日)、秋も深い三戸浜の小島合宿所で、第18回早風会が催されました。おだやかな相模灘を眺め、ご遺族の皆様と早風会の碑に献花し亡き友を偲びました。

今年はずいぶん沢山参加して、皆で稲龍に乗って沖を一周し、海に菊をさ、げました。手塚さんの坊やが、テンダーに乗る時一人で沈をして大騒ぎ。でも直ぐ着替えて「稲龍」には乗れませんでした。小沢会長の挨拶「この会にも沢山子供達に来てくれるようになって本当に嬉しい。しかしどうゆう訳かウチの会員のところは女の子が多い。今後はこんな事のないように」???と厳重なお注意があった。



合宿所びらき

2月10日(日)、10時より三戸浜・小島合宿所の合宿所びらきを行った。小沢会長、加藤監督、北島助監督、安藤講師、今度学院ヨット部の総監督に就任された杉山博保氏・以下若年OB多数も参加して、三戸浜神社に先づ部旗を先頭に参けい。安全祈願。全日本必勝祈願。合宿所で早風碑に献花。再度安全祈願して55年の合宿所開きといたしました。うらかな「早春の三戸浜海岸だった。

子供達の上陸後、海岸で焚火を開き「あ、早風号」廻航の歌」を静かに歌った。頼(41)さんのお嬢ちゃんのリードで、ドングリココロを沢山、唱いました。

第44回 全日本学生 ヨット選手権大会 (現役の報告より)

8月18日より21日まで、宮城県七ヶ浜で、79年インカレが開演されました。大小の島々が点在する仙台湾には、各水域から厳しい予選を勝ち抜いてきた精鋭が北から、南からこぞって集まり日頃の練習の成果を発揮した。早稲田チームも井上主将をはじめとして、部員一同例年になく陸上トレーニングにも力を入れ、勿論海の上でも激しい練習をこなしてきた。

惜しくも関東インカレ一位を逃した四七〇級は 予選落ちをしたスナイプ級の分まで頑張った。

レース前の知識として、松島附近は微風で潮流、風のふれがあり、先づ吹かないとゆう概念があった。しかし、現場で海面を見るとそうでもなかった。それに加えて、海底が浅い為か、岩場など二妙なウネリがあった。三戸浜・葉山とは全く違う海であった。

初日1R・2Rが消化されたが、だんだん日が落ちてきてDNFも出る程だった。

2日目、初日につゞきコース短縮があり各校とまとった。厳重な規定調査等不運な失格もあり、や、後退気味。

最終日、順風ぐらい吹き上位に喰い込むチャンス。松島湾独特の2・3メートル位のうねりの中のレース。「稲龍」からも大いに応援し各艇最後の力をふりしびつたが、結局7位におわった。尚、インカレ前に行われた個人選手権では、井上

・地曳組が2位に入賞しました。

- 優勝、横浜市立大、2位広島大、3位京大、4位東北学院、5位同志社、6位大阪経大、7位早稲田、8位名院大、9位日大、10位鹿児島大、以下略、22チーム、3艇づゝの66パイ・レースでした。

住所変更のお知らせ

- ①7 佐藤秀郎 千九五一 新潟市信濃町二十アプレジデント信普七〇四号TEL〇二五二〇一三五八
- ①8 古内弘之 F-12 SWISS TOWERS 113 TAI-FANG RD. HONG KONG
- ①9 長谷川正勝 千四五七 名古屋市南区道徳新町五十二九TEL〇五二一六九一一四六三七
- ②0 北島武夫 千二三六 横浜市金沢区釜利谷町四四三九一八六TEL〇四五七八二一一〇八六
- ②1 浜田金紀 千五六〇 豊中市緑ヶ丘四二一一三六TEL〇六一八五四〇五四四(勤務先)東京靴下襦大阪支店・大阪市西区西本町二一一三六TEL〇六一五三八一一〇八一

会費納入者一覧

- ④1 後藤 岡田 ④0 山中 ④2 原田武
- ④3 武村 ④4 佐藤 ④5 大塚 ④6 湯沢 宮本
- ④7 林 ④8 木村 ④9 新名(以上は会報六号以降)
- (ご寄附芳名一覧)
- ①4 新名 ①5 武村 尚、前回記載の東海OB会のメンバーは、①6 池口 ①7 村瀬 ①8 大河内 ①9 稲垣 ②0 山内 長谷川 ②1 近岡 ②2 大島 ②3 渡辺の諸氏であります。

今年も よろしく!!
(返信ハガキより)

- ③⑧ 杉井謙治 O B会隆盛にむけ 微力ながらお役にたてたらと思います。
- ③⑨ 三枝利有 五年の米国留学後 神戸製綱所に入社しました、今後もよろしく。
- ④⑦ 尾原健太 関西の皆さんの連絡係とる様頑張ります。姫路市の木場ヨットハーバーにてクルーザーに乗っています。必要あればご連絡下さい。
- ④④ 長谷川正勝 昨年末転居しました。
- ④⑤ 北島武夫 自宅住所変更しました。
- ④⑥ 大矢木一 会社が沢山ふえてテンヤワンヤで張り切っております。今シーズン、オーブンした湯沢が多忙です。
- ④② 大原靖弘 石油高騰で、大原セイルもピンチです。東奔西走、頑張っております。
- ④① 八藤丸亮 地の果て、九州よりクラブの益々の発展を願っています。
- ④④ 大興太郎 欧州出張中に欠席します。盛会を祈ります。
- ③⑨ 志智純一郎 古内弘之氏の香港住所をお知らせします。小生元氣です。
- ③⑧ 中島順二 子供達も参加希望です。
- ③⑦ 石田晋也 一つの間にかこの会報の編集(⑤⑥⑦号)を引き受けさせられて今も、頭をかり／＼させながら仕事を放つぱり出して編集中心!! この原稿全部書き直しだな、こりや、とか、この原稿行數足りないよ。米田崎さん大阪に転勤しまつて、しょうがねえな、てな具合、皆さん会報読んで方はO B会費払って下さいね。黙テンは良くないよ。
- ③③ 岩沢洋 出張の為欠席、残念。

- ③② 山崎達光 目下、改装中で渋谷に仮住い中。
- ③③ 川島裕 21年間の箱根山生活から、海の見える職場に移りました。下田の名士、伊藤君がおり助かっています。シーズン中は道路が混みます。海路でお願いします。(下田海中水族館々長)
- ③② 武村洋一 残念やら東北出張中。
- ③① 伊藤昭 (金的) 病氣一つせず元氣で頑張っています。米田さんの家の近くに会社あり、自動車の押売りはしないつもり。
- ③① 安井淳 総会当日、会社の研修会の為欠席、松本先輩がオリンピック強化コーチとして活躍中の由、新聞で拝見、健闘祈ります。
- ③① 松本富士也 オリンピックで日の丸を上げるのを夢をみて正月から三月まで選考レース、五月海外遠征と考えていますが、激動する世界の流れを不安に思いつながら見えています。
- ③① 中沢弘 先日の四大学レースでは皆様のご協力ありがとうございます。関西のO B会も一月中に新年パーティやる様、中塚先輩の命で実行予定。
- ②⑨ 金沢健 先約あり欠席、諸氏にご無沙汰おわびします。
- ②⑧ 河村雄三郎 東京に転任になります。移転、引継等が多忙、次回から出席します。
- ②⑧ 村瀬治美 昨年は若い社員を速成クルーに仕立てマハシカーラに乗って機会ある毎にレースに出ました。中部選手権でチン、浜名湖の水がクライこと判明全日本は七位入賞、本年は優勝を目指します。

- 求人!! 海外出張要員(セールスサ-ビス) デインギ-レーサー 必須条件 英語 中国語 貿易実務でできれば更に良し
- ②⑧ 円谷忠 昨秋、肝炎で二ヶ月半入院したが一月中旬より復職予定です。
- ②⑦ 木本精之助 盛会を祈ります。
- ②③ 林 弘 諸事多忙にいつも失礼。それでも遅ればせ昨年年末に会費振込みました。
- ②① 仲山寿太郎 定年退職寸前でヤホ用に追われております。皆様によろしく。
- ①⑨ 金子四郎 本年も早稲田ヨットクラブの発展と諸氏のご健康をお祈りしています。国内出張中に欠席します。
- ①⑨ 菊川誠一 年毎に世の様子は混乱した状態になってゆきますが、どうか明るく義の支配する将来の楽園を希望としてお持ち下さる様に願います。皆様によろしく。
- ①⑦ 佐藤秀郎 今度転居しました。
- ①⑦ 大井重之 クラブ、年毎の発展をお慶び申し上げます。
- ①⑤ 植松雅光 出席の諸兄によりしく、クラブ会費、55年度分如何ぐ一報載ければ幸甚。
- ①⑤ 田原正信(夫人代筆) ヨット会報その他お送り下さいまして本当に有難うございました。主人も楽しんで読ませて戴きました。皆様にお元氣で、よろしく」と申しております。
- ①④ 増井啓男 皆様お元氣で新春をお迎えること存じます。私も孫の世話をしながら平和な日々を送っております。会

には出席できませんが80年度の躍進を祈念致します。
①③ 藤村紀雄 残念にも出張中、出席の諸兄バンザイイ。

早稲田ヨットクラブ
例会日程 1980 (於永楽クラブ)

| | | |
|----------|-------|--------------|
| 第2木曜か | 第3木曜日 | 夕方6時~8時 |
| 2月14日(木) | 世話人会 | 8月21日(木)世話人会 |
| 3月13日(木) | 理事会 | 9月11日(木)理事会 |
| 4月10日(木) | 世話人会 | 10月9日(木)世話人会 |
| 5月15日(木) | 理事会 | 11月13日(木)理事会 |
| 6月12日(木) | 世話人会 | 12月18日(木)納会 |
| 7月10日(木) | 理事会 | |

※いつでも誰でも出席自由。
永楽クラブは TEL 03-231-6439 です。

弔事のお知らせ
当クラブ会員、薄常信氏は昨秋急逝されました。同氏は早稲田ラグビー部先輩であり、小沢会長の級友で、又会長のクルーとしてヨットレースに出場された方でもあります。葬儀は四谷笹寺でラグビー部葬としてしめやかに挙行され、当会より供花をさせていただきます。
ご遺族から丁寧なお礼がありました。